

RPPC メールマガジン 第 799 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 11 月 13 日）

■事務局からのお知らせ

今週のお知らせは特にありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.リサイクルポート推進協、廃プラ対策テーマに講演会

リサイクルポート推進協議会（会長・米田徹糸魚川市長）は 11 月 5 日、第一ホテル東京シーフォートにおいて、「廃プラスチックのリサイクル」をテーマとする令和元年度リサイクルポートセミナーを開催した。

最初に劉庭秀東北大学大学院教授が「新しい局面を迎えた国際資源循環」のテーマで基調講演したほか、

▽プラスチックの資源循環に関する環境省の取組（講師：環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室室長補佐・今井亮介氏）、

▽プラスチック類の資源循環利用の現状（（一社）プラスチック循環利用協会総務広報部部長・冨田斉氏）、

▽日本リサイクル・インテリジェント・プロダクツ～小さな大企業を目指して～（（株）リプロ代表取締役社長・岡田謙吾氏）の講演があった。

セミナー開催にあたって来賓の松良精国土交通省港湾局海洋・環境課長は、「昨今、自然災害が頻発しリサイクルポートを活用した災害廃棄物処理に係わる様々な取組みがされている。先般の台風 15 号、19 号においても大量の災害廃棄物が発生し、その処理をどうするのが大きな課題になっている。今後リサイクルポートを通じた広域処理の必要性が出てくれば、当推進協議会が蓄積してきた知見、ノウハウが活かされるものと期待している。国交省としても本日のセミナーなどを通じて循環資源を巡る動向をしっかり把握し、リサイクルポート施策を更に進めて参りたい」と挨拶した。

基調講演した劉教授は、廃プラ問題と最近の動向について講演。従来大量の廃プラ輸入国であった中国が 2018 年末に輸入禁止策を施行して以降、世界はその処理を巡って、新たな技術開発や脱プラなど大きな局面を迎えていることなどを話した。

2.埋立浚渫協会、関東地整と意見交換会開催

関東地方整備局と日本埋立浚渫協会（埋浚協会）との意見交換会が11月5日、横浜市のロイヤルホールヨコハマで開催された。埋浚協会が、協会会員企業や下請け企業に実施したアンケート調査等に基づき、「働き方改革、担い手の確保・育成」、「生産性の向上」をテーマとした現状の課題や対応の方向性等について説明・要望を行い、双方で認識を共有するとともに、具体的な施策の実施等に向け意見を交わした。

当日の意見交換会には、関東地整側から加藤雅啓副局長、森信哉港湾空港部長をはじめ幹部、各港湾事務所長等が出席。また埋浚協会側からは清水琢三会長（五洋建設社長）、武澤恭司副会長（東洋建設社長）、秋山優樹副会長（東亜建設工業社長）、福田功専務理事のほか、理事や本部の協会各委員会（総務、技術、施工、契約委員会のほか基本問題検討部会等）のメンバーや関東支部会員等が出席した。

会合の冒頭に挨拶した清水会長は、まず台風15号19号等で関東地整管内で被害があったことに触れ、協会として災害復旧にしっかりと対応していきたいとの考えを示したのち、「将来の担い手となる若手・女性にとって魅力ある産業となるよう、週休2日を目指した働き方改革と生産性向上を推進することが、ここ数年の経営課題となっている」とし、昨年3月に協会において策定した働き方改革推進の基本方針に掲げている4週8閉所の実現に向けて取組みを進めて行く重要性を話した。

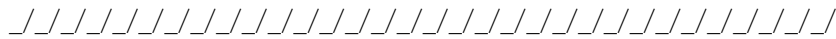
一方、加藤副局長は、台風被害の復旧にあたり、災害協定に基づき埋浚協会が尽力したことについて感謝の意を示したのち、「関東地整管内では様々な事業が展開されており、東京港臨港道路南北線、羽田空港際内トンネル等2020年までの供用に向け、工事が大詰め段階。また安全・安心な国土づくり、災害に強い港湾整備が大きなテーマとなっており、引き続き取り組んでいきたい、とお力添え頂きたい」、と語った。

3.国交省港湾局が維持管理ガイドライン検討委員会開催

国土交通省港湾局は11月6日、「直営向け港湾の施設の点検診断及び維持管理計画策定ガイドライン検討委員会（委員長・岩波光保東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系教授）」の初会合を開催した。維持管理に係る人材の不足や予算確保が厳しい実情等を踏まえ、港湾管理者による直営作業を前提とし、既存の点検診断ガイドライン、維持管理計画策定ガイドラインを補足する「運用書（案）」を来年1月下旬頃にとりまとめる予定。

点検診断ガイドラインは、港湾施設（岸壁、防波堤、橋梁等）の点検診断の頻度や方法等の考え方、施設毎の実施要領等をまとめたもので、維持管理計画策定ガイドラインは同点検診断の考え方等を反映させ、港湾管理者が維持管理計画書を作成する手引きとなるものとして策定している。

【港湾空港タイムス11月11日号から編集】



発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

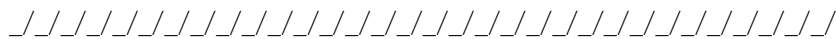
安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp



■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。